

石巻市NPO支援オフィス通信
月刊 **んぽん舗**
平成24年3月号 第103号毎月10日発行

発行日 2012年3月10日
発行 石巻市NPO支援オフィス
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63
TEL/FAX 0225-23-3641
E-mail nposhien@pluto.plala.or.jp
URL <http://www.ishinomaki-npo.jp/>

昨年3月11日に発生した東日本大震災より、一年が経過致しました。改めまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

参加者募集

体験漁業in雄勝

主催:NPO法人
DoTankみやぎ

震災で甚大な被害を受けた石巻市雄勝地区の水産業の復興事業の一環として、将来ある人材に少しでも関心を持ってもらえるよう、漁業体験や漁業の現状などを学習してもらい、未来の漁業を支える人材を育成支援する事業です。

■日時: 3月17日(土)・20日(水) ※24日(土)は予約満席となりました(5名以上で実施し、人数を満たしていない場合は中止します。)

■時間: 午前10時スタート予定

■場所: 宮城県石巻市雄勝町小島 OHガッツ共同作業所
(宮城県石巻市雄勝町小島字和田2-1 プレハブ周辺)

■対象者: 小学校・中学校・高校生5名以上の団体(親子での参加・学校単位も可)

■実施内容: 「かき養殖」「わがめ釣り」「ロープワーク」から一つ+雄勝の自然、漁業についての講話(全体で所要時間2時間程度)

■定員: 各実施日50名以内 ■締切: 各実施日一週間前まで ■参加費: 無料(昼食500円※事前申込みのみ)

※10名以上であれば、石巻駅から無料バス等をチャーターします。

※寒くない格好で、長靴・必要な方は着替えをご用意下さい。

■お問合せ: NPO法人DoTankみやぎ 理事長・遠藤学

TEL: 080-3198-4889 E-mail: je981002@cocoa.ocn.ne.jp



助成金情報

東日本大震災現地NPO応援基金第2期助成

- 助成対象: (1) 岩手県、宮城県、福島県において直接被災者の生活再建を支援する「現地NPO」
(2) 上記(1)の活動を行う団体の「現地ネットワーク組織」または「現地中間支援組織」
※任意団体を含み、法人格の有無や種類は問いません。

○助成金額: 1件当たり500万円以内(1回の選考での助成総額は概ね2,500万円) ○応募期間: 2012年8月31日までの期間、随時受付

○応募方法: 応募用紙を日本NPOセンターのホームページ(<http://www.jnpoc.ne.jp/>)よりダウンロードし、下記宛先まで郵送

○お問合せ: 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド(担当: 坂本・武藤)

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手ビル267-B TEL: 03-3510-1221 Email: ksakamoto@civilfund.org

助成金情報

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」

○対象団体: 被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方々への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等であって、5名以上で構成されている非営利団体

○対象活動: 東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア活動等全般。被災地における活動だけでなく、全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象。いずれも平成23年3月11日以降の活動について対象。すでに活動が終了した部分についても、さかのぼっての応募可能。

○助成金額: ①短期(おおむね1か月未満)の活動: 50万円以内 ②中長期(1か月以上)の活動: 300万円以内

○応募締切: 第7次 3月30日(金) ※第8次以降はホームページをご覧ください。現地の状況等の変化に合わせ、応募要項ならびに応募書は柔軟に変更していきます。応募前には最新の応募要項・応募書を確認するようご注意ください。

○お問合せ: 社会福祉法人 中央共同募金会企画広報部(ボラサポ担当)

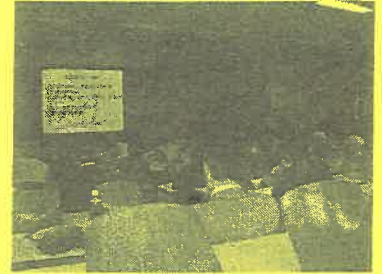
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 5階 TEL: 03-3581-3846(代) FAX: 03-3581-5755

E-mail: support@c.akaihane.or.jp HP: <http://akaihane.or.jp>

取材日記 2012. 2.18 (土) 13:30~17:00

「子どもの心の理解セミナー」

事業協力:NPO法人フェアトレード東北



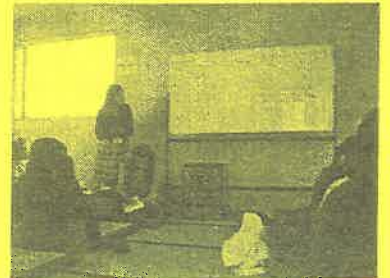
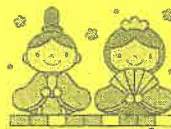
2月18日(土)石巻専修大学を会場に「子どもの心の理解セミナー」が開催されました。第一部では、児童精神科医・小平雅基先生が「大規模災害が子どもの心に及ぼす影響とその対応について」というテーマで講演して下さいました。震災で子どもの心は複雑になり、行動・言動に変化が現れてくる場合があります。以前はできていたことができなくなったり(着替えや運動・話せていた言葉を失うなど)、腹痛や頭痛・睡眠障害などの身体症状、イライラしたり怒りっぽくなったりするなど、年齢にもよりますが、変化は様々です。対応として、一番大切なのは「安全で安心な生活の確保」で、食事や睡眠、遊びや勉強など、安定した不安のない生活を送らせてあげることが大事だそうです。小さい子どもに対しては、できなくなったことを叱らない、一人にしない、守ってあげるから大丈夫という安心感を与えてあげる。マッサージや抱擁などのスキンシップも良いそうです。小学校高学年~高校生の場合は、抑うつや引きこもりなどの症状が現れることがあり、メンタル面が複雑な問題になってきます。小さい子どもとはまた違った対応が求められます。年齢により、本当に様々な症状が見られるようです。家族ができることで解決していければ良いですが、症状が激しい・長引くなど、心配な場合はすぐに専門機関に相談することが大切です。

第二部ではミニシンポジウムが開催され、精神科医・臨床心理士の先生方、子どもの近くでお仕事をされている方々(保育士・栄養士・子ども支援団体の方)がお話して下さいました。印象的だったのは、保育園の栄養士・佐々木愛実先生がお話して下さいました。震災後の保育園の子ども達の様子です。積み木遊びをする子ども達が、今までは低く枠を作って遊ぶだけだったのに、高く積み木を積みむようになったそうです。どうして?と聞くと、「津波が来ないように」と…。さりげない遊びの中にも、震災の影響が出ているんですね。それから、震災直後は食べ物が手に入りにくい状況が続き、家庭でも保育園でもご飯の用意が大変でした。その後の生活で、おやつを半分だけ食べて、お家に持って帰って家族にあげると言ったり、先生にあげると言ったり、食べ物を大切に食べて、他の人を思いやる様子が見られたそうです。消防士や自衛官になって、皆を助けてあげたいと言う子どももいるそうです。震災体験は子どもの心にショックを与え、悪影響を及ぼすことがあるのは強く分かったのですが、お話を聞いて、人を思いやることができたり、誰かを助けたいという優しい気持ちを持つ子どももたくさん増えるのかなと思いました。(もっと増えてくれるといいな)セミナーに参加して、子どもの心が少し見えたような気がします。次回もぜひ参加させて頂きたいと思います。

次の開催は3月24日(土) 13:00~17:00(会場:石巻専修大学5号館3階・5301教室)です。

取材日記 2012.3.3 (土) 13:00~14:30

「ひな茶会」主催:石巻を考える女性の会



石巻市西山町の山下会館にて開催された、「ひな茶会」に参加させて頂きました。女性の会のメンバーさんをはじめ、メンバーさんと交友のあった女性の方々、約25名の方が集まり、賑やかな場となりました。

あの大震災からもうすぐ一年。震災を振り返り、震災を経験してそれぞれが感じたことを話し合いました。「日頃から防災の意識をしっかりとっていないといけない」「近所付き合いってこういう時大切だって感じた」「過去は戻らないから、教訓にしていくしかない」と、辛かった経験を改めて思い出しながら、でもこれから見つめて、皆さんお話をされていました。楽しくおしゃべりしつつも、きちんと考えていかなければいけない課題がいくつも出ました。被災者自立の為に、ボランティアさんとの関係を見直した方が良いのではないかと?という意見や、地域の自治がしっかり形成されている→その住民にはきちんと食糧の配給がされていた→地域ごとにリーダーを育てるべき(世代交代し、若手へと繋ぐこと)という意見等。児童館の新設、震災の語り手の継承、電力の講演会(放射能・節電)を求める声もありました。そして、皆さん共通な思いとしてあるのは、誰かと話をする事で救われるということ。「誰かと話す事で気が紛れ、ストレス解消になる」「悲しみが癒される」「傾聴ボランティアの大切さを感じた」と、誰かと話すことを一番に求めていると感じました。安心して誰かと話すことで、皆さんが少しでも前向きに毎日を送ってほしいなと思います。

ひなまつりのお菓子がテーブルに並び、お座敷には可愛い小さな雛人形が飾られていました。春らしく、あたたかい雰囲気のお茶会でした。これからも今日のような、女性が気軽に集える場を提供して頂けたら嬉しく思います。石巻を考える女性の会さん、楽しいお茶会を開催して下さいましてありがとうございました。



本の紹介

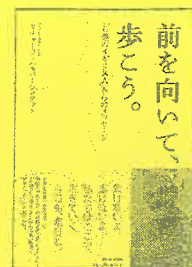
震災関連の本を貸出してあります。他にも何冊か本棚にご覧下さい。



河北新報のいちばん長い日
震災下の地元紙
一巻・河北新報社



奇跡の災害ボランティア「石巻モデル」
一巻・中原一歩



前を向いて、歩こう。
「石巻のイギリス人」からのメッセージ
一巻・リチャード・ハルバーシュタット